



HOFU PHILHARMONIC ORCHESTRA

防府フィルハーモニーオーケストラ
第4回定期演奏会

the
4th

2022. 6/19 SUN

13:00 開場 / 14:00 開演

アスピラート (防府市地域
交流センター) 3F 音楽ホール



ごあいさつ



防府フィルハーモニーオーケストラ
団長 中島 俊泰

本日は「防府フィルハーモニーオーケストラ 第4回定期演奏会」に御来場いただき、誠に有難うございます。

当オーケストラは、音楽の街 防府を中核とする音楽愛好家達によって結成され、今年で7年目を迎えるアマチュアオーケストラです。御承知のとおり、この2年間は、新型コロナウイルスの感染拡大により、国内の多くの公演が中止や延期を余儀なくされる中で、様々な制約や精神的ストレスを感じながらも、団員一人ひとりが前向きな気持ちと心のハーモニー

を失うことなく、地道な練習を続けて、漸く3年ぶりに、悲願のコンサートを再開することができました。

本日の演奏会には、グreek作曲「ピアノ協奏曲イ短調」のソリストとして、県内外で幅広く演奏活動を展開している防府市出身のピアニスト 喜多村裕美さんをお迎えし、演奏会に華を添えていただきますことを団員一同、心から嬉しく思っております。

御来場の皆様には、日曜日の午後のひと時を心ゆくまで、ごゆっくりとお楽しみいただきますと共に、今後とも当オーケストラに、尚一層の御支援を賜りますよう、心からお願い申し上げまして、御挨拶といたします。

プロフィール

角中 悦太郎 / 指揮

東京学芸大学音楽科(音楽学専攻)卒業。防府・山口地域を中心に音楽指導に携わり、これまでに第九を歌う会「アン・ディ・フロイデ」、合唱組曲「佐波川を歌う会」、防府音楽祭等で指揮者を務める。現在、防府弦楽合奏団、防府グreekクラブ並びに防府フィルハーモニーオーケストラ指揮者として活動。山口県音楽協会常任理事、防府音楽協会副会長、防府フィルハーモニーオーケストラ副団長。

山本 貴志 / 指揮

中学校入学と同時に吹奏楽部に入部し、チューバを担当。高等学校では角中悦太郎氏の指導、薫陶を受ける。大学の交響楽団にチューバ奏者として入団し、学生指揮者を2年にわたり務めた。在学中に教育学部音楽コースの指揮法講座を1年間受講した。2018年より当団に奏者として入団。2022年、当団副指揮者に就任。現在、山口県内の中学校で教鞭をとりながら、吹奏楽部の指導にあたっている。これまで指揮法を中井勝氏に師事。



◇ソリスト

喜多村 裕美 / ピアノ

防府市出身。国立音楽大学卒業。第11回TYSピアノ・バイオリンコンクール最優秀賞受賞。ブルガリアで行われた第5回MUSIC AND EARTH国際器楽・作曲コンクール、室内楽部門第1位。第6回同コンクール、ピアノデュオ部門第1位。第5回宮日音楽コンクールピアノ部門最優秀賞。第5回国際ピアノデュオコンクール第1位。

プログラム

【第1部】

ベートーヴェン／オペラ「フィデリオ」序曲

グリーグ／ピアノ協奏曲 イ短調 作品16

第1楽章 Allegro molto moderato

第2楽章 Adagio

第3楽章 Allegro moderato molto e marcato

休憩

【第2部】

チャイコフスキー／交響曲第6番「悲愴」ロ短調 作品74

第1楽章 Adagio – Allegro non troppo

第2楽章 Allegro con grazia

第3楽章 Allegro molto vivace

第4楽章 Adagio lamentoso – Andante

【ベートーヴェン／オペラ「フィデリオ」序曲】

オペラ「フィデリオ」は、ベートーヴェン(1770～1827年)が完成させた唯一の歌劇作品です。この歌劇に対して、序曲が4曲も作曲され、この曲は最終決定的なものとして4番目に書かれた序曲です。歌劇の内容を暗示的に描き、力強く簡潔なものとなっており、歌劇上演の場合だけでなく、演奏会でもしばしば単独で演奏されます。

【グリーグ／ピアノ協奏曲】

グリーグ(1843～1907年)が25歳のときにデンマークのセレズに訪問している間に作曲した、唯一の協奏曲であり、ピアノ協奏曲の中でも、非常に人気の高い曲です。冒頭のティンパニのクレッシェンドに導かれて登場するピアノの流れ落ちるようなフレーズは、最も有名です。

母国ノルウェーの民族音楽から着想を得ており、清純な旋律や新鮮な和声、軽快なリズムなどで多彩な美しさを表現しています。また、自身がピアノの名手であったことから、楽器の性能を存分に生かし技巧的な面でも北欧の大自然に培われた色合い深い情調を表現しています。

【チャイコフスキー／交響曲第6番「悲愴」】

チャイコフスキー(1840～1893年)の最後の交響曲であり、『Pathétique(悲愴)』という副題が付けられています。独創的な構成となっているのが、この曲の最大の魅力です。優雅でありながらも不安定な暗さと慰めのようなメロディーが交差する2楽章を経て、3楽章の軽快で華やかな盛り上がりにより絶頂感が高まります。しかし4楽章では、第1、2ヴァイオリンが主旋律を1音ごとに交互に弾くという独創的なオーケストレーションによる下降する旋律が、これまでの楽章と対照的となっており、一気に曲の表情を変えます。終盤は、この主題が次第に高潮し、情熱的なクライマックスを形づくっていき、トロンボーンとチューバの和音と吊いの銅鑼が鳴ります。そして音楽は深く沈んでいき、最後には静寂で終わります。

出演者

指揮 角中悦太郎 山本貴志	ヴァイオラ 梶原菜子 竹内文乃 八木雅子 ★寺田篤志 ★山本直晃	フルート 岩木麗香 木嶋奏 木梨茂美 濱本香織	ホルン 岡本一芙美 奥原和彦 藤本珠美 ★徳久雅也 ★松本昌義
コンサートミストレス 横井英玲奈		オーボエ ★宗國敦子 ★北村茉鈴	トランペット 後藤正彦 ★東川剛
第1 ヴァイオリン 大谷悠華 角中優子 竹本匠 永田萌 ★竹尾真実 ★安永めぐみ ★横山寛生	チェロ 尾中克則 加藤由香里 西野まどか 浜口和彦 原田寛 ★田中雅弘	クラリネット 富田華子 富田美紀 藤田 茜	トロンボーン 末永佳嗣 津守裕之 道給ふみ
第2 ヴァイオリン 飯田志津江 川本みか 河内山愛子 松富和子 松野和江 ★上原葉子 ★中村素子	コントラバス 大田祐紀 芝口英夫 藤永恵美 ★久保田尚	バスクラリネット ★津守康子	バストロンボーン ★弘中芳雄
		ファゴット 倉田宗幸 ★近藤聡彦	チューバ 山本貴志
			パーカッション 富田音々 ★大田良恵 ★折崎由梨

(以上50音順)
★賛助出演

後援会

後援会の皆様にはオーケストラの活動に温かいご支援を頂き、この場を借りて厚く御礼申し上げます。
賛助会員のうち、掲載に同意を頂いた方のお名前を掲載させていただきます。

防府ロータリークラブ、齋藤段ボール(株)、東山口信用金庫、中国電化工業(株)、大村印刷(株)、協同重機(有)、
松崎幼稚園、防府天満宮、枳倉産業(株)、(有)はしもと、(医)神徳会三田尻病院、(株)英友総合設計事務所、
大田良恵、松下文二、家本哲夫、松下良三、松下純一、中村明人、土居田照雄

団員募集

一緒に活動してくれる団員を募集しています！まずは、お気軽に見学にお越しください。
お待ちしております。

【練習場所】アスピラート [防府市地域交流センター]

【練習日】日曜日(月2回程度) 17:00 ~ 2時間程度 ※詳細はホームページにてご確認ください。

【問合せ】メール hofu_phil@yahoo.co.jp HP <http://hofuphil.web.fc2.com/>